PEOPLE TOWN LIFE ひと まち くらし

歌い継ぎたいゆかりの英雄
野見宿禰ここにあり

日本の国技「相撲」。その起源は、今から2千年近く前にあった、命を賭した闘いだといわれています。この闘いの当事者のひとりが、出雲国にいた「野見宿禰」。

相撲の元祖といわれる野見宿禰のルーツをたどると、そこには飯南町があった。

8月18日には野見宿禰をたたえる顕彰碑が野見野の地に完成

上赤名にひろがる平野

相撲の元祖の誕生

奈良時代の歴史書、日本書紀に、當麻蹶速と野見宿禰の命を懸けた取組が記されています。

大和国（現奈良県）にいた當麻蹶速はとても力の強い人物で、「俺ほど力のある者は他にいるのか」と豪語するほどだったという。その頃、国を治めていた垂仁天皇は、「出雲国に野見宿禰という大変力の強い人物がいる」と聞き、野見宿禰を大和国に呼び寄せ、當麻蹶速と力比べをさせることにしました。

2人は向かい合って力いっぱい闘い、野見宿禰が當麻蹶速を倒しました。のちにこの対決は、奈良時代に始まった7月7日の宮中行事相撲節会の起源とされています。

江戸時代に庶民向けの興行相撲が盛んになると、力士らを描く相撲絵が人気を呼び、當麻蹶速と野見宿禰の取組は、多くの絵師が題材としました。そして、2人の対決が相撲の起源として広く語られるようになりました。

出雲大社と飯南町 もうひとつのつながり

出雲国風土記の飯石郡条に、「野見野」という地名が登場します。風土記によると、野見野は現在の飯南町上赤名の呑谷周辺であるとされています。また、野見野一帯は、野見宿禰の支配地があったと伝えられ、飯南町と相撲の元祖 野見宿禰のつながりを示し、そのルーツが飯南町にあることを表しています。

さらに、野見宿禰は出雲国を支配していた出雲国造の先祖。つまり、現在、出雲大社の宮司を務めている千家家の祖先ということになります。学問の神様として知られる菅原道真や、戦国武将の毛利元就の祖先にもあたるといわれています。

野見宿禰は、日本最大級の大きさの出雲大社神楽殿の大しめ縄と並び、出雲大社と飯南町を結びつけるもうひとつのキーワードなのです。

相撲甚句でまちおこし

大相撲の巡業などで、力士が土俵上で披露する七五調の囃子歌「相撲甚句」。江戸時代末期から、力士の間で歌われてきました。

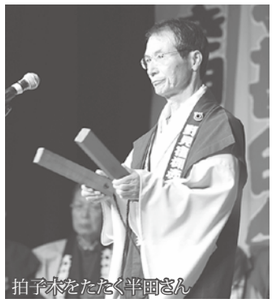
平成23年2月、この相撲甚句と野見宿禰でまちおこしをと、町内の有志10人が集まり、「野見宿禰赤名相撲甚句会」が結成されました。

「野見宿禰のルーツがこの地にあることはまちの誇り。町の皆さんはもちろん、多くの人に知ってほしい。後世にしっかりと受け継いでいきたかった」と結成当時の思いを話すのは、同会会長の赤穴憲一さん、幹事長の半田眞道さん（半田さんは、野見宿禰研究家でもある）。

同会では、地域イベントに出演し野見宿禰のPRに努める一方、福祉施設での公演なども行っています。

甚句を歌う赤穴さん

また、10月13日には、相撲甚句の愛好家などが甚句を発表する2年に一度の大会、「全国相撲甚句大会」が飯南町で開催されました。野見宿禰赤名相撲甚句会をはじめ、地元島根県や青森県、東京都、長崎県などから14団体、159人が集まり自慢の声を披露。町内外からの来場者など約250人が聴き入りました。


拍子木をたたく半田さん

若い人もぜひ歌ってほしい

野見宿禰赤名相撲甚句会の会員は、現在、50～70代の10人。やはり後継者の不安はあるという。

「毎月、第2・4水曜日の月2回、赤名農村環境改善センターで練習しているので、興味のある人はぜひ見にきてもらえれば。口を大きく開けて、腹から声を出す練習をするので歌もうまくなる」と赤穴さん。若い人から高齢の人まで広く募集しているとのこと。

10月13日に開催された全国相撲甚句大会

AR 動画

今後も相撲甚句を通じて飯南町を盛り上げ、将来は、相撲の巡業の誘致、尻相撲の全国大会も開催したいと話されていました。

まちの魅力を甚句にのせて

相撲甚句には、昔から歌い継がれてきた歌のほかに、歌詞にご当地の名所や風習、日々の生活などを取り入れた、ご当地甚句が数多く作られています。野見宿禰赤名相撲甚句会でも、会員作詞の甚句が作られています。

そう考えると、相撲甚句は、力士が相撲の土俵で歌うだけのものではありません。その土地の民謡や文化などと深いかかわりの中から生まれ、歌われ、後世の人々に歌い継がれていく、地域の歌の性格を持つものであるといえるかもしれません。

「聞いて面白い、歌って面白い、作って面白い」と赤穴さんは相撲甚句の魅力を話します。みんなが作詞家になれる。相撲甚句の歌声に乗せて、町の文化や誇りが日本各地へ届く。あなたも、まちの魅力や文化をのせて、歌ってみてはいかがだろうか。

今日も、張りのある歌声と「アー、ドスコイ。ドスコイ」の合いの手が飯南の地に響きます。